

入札書記載金額の算出方法について

- 1 入札はカウンター方式（レンジ）及び通過低減方式（複写枚数が増えると1枚あたりのカウンター料金が安くなる）で行う。
- 2 1月当たりの平均使用枚数の保守料金と月の賃貸借料金を併せた額で競うものとする。
※併せた額の合計（月額）が入札金額となる（消費税抜き、1円未満の端数は切り捨て）。
※入札書の記入例を参照。
- 3 モノクロのレンジは月の最大使用枚数（14,000枚）までを2段以上で組むこととし、それに「最大使用枚数（14,000枚）+1枚以」を加え、最低3段以上にすること。カラーのレンジは月の最大使用枚数（2,700枚）までを2段以上で組むこととし、それに「最大使用枚数（2,700枚）+1枚以上」を加え、最低3段以上にすること。なお、契約はそのレンジで締結することとする。
※（金額及び枚数）記入及び組み合わせは業者が行う。
- 4 1枚当たりのカウンター料金は、小数点以下第1位（〇円〇十銭）まで記入すること。
- 5 入札書中、賃貸借料金と保守料金の合計が入札金額と異なる場合及び、複写枚数×単価の金額の計が、保守料金の合計と異なる場合は、この入札を無効とする。

【入札書の記入例】

複写枚数 月平均 モノクロ4,800枚、カラー330枚 で計算

賃貸借料金 (月額)		30,000円 ①				
保守料金 (月額)	モノクロ	枚数		単価	複写枚数×単価	金 額
		1枚～ 3,000枚		4.0円	3,000枚× 4.0円	12,000円
		3,000枚～ 10,000枚		3.5円	1,800枚× 3.5円	6,300円
		10,000枚～ 20,000枚		3.0円	枚× 円	円
		20,000枚以上		2.5円	枚× 円	円
	小計					18,300円 : A
	カラー	1枚～ 200枚		15.0円	200 枚× 15.0円	3,000円
		200枚～ 800枚		14.0円	130枚× 14.0円	1,820円
		800枚以上		13.0円	枚× 円	円
		小計				
	保守料金(A+B) 合計					23,120円 ②
	入札金額(①+②)				53,120円	

一番安い業者が落札

一番安い業者が落札

(注) 入札金額は、消費税額を含めない金額とし、1円未満の端数は切り捨てて、記入してください。